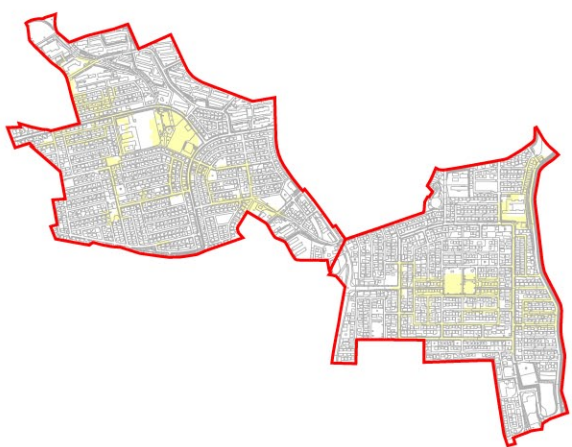
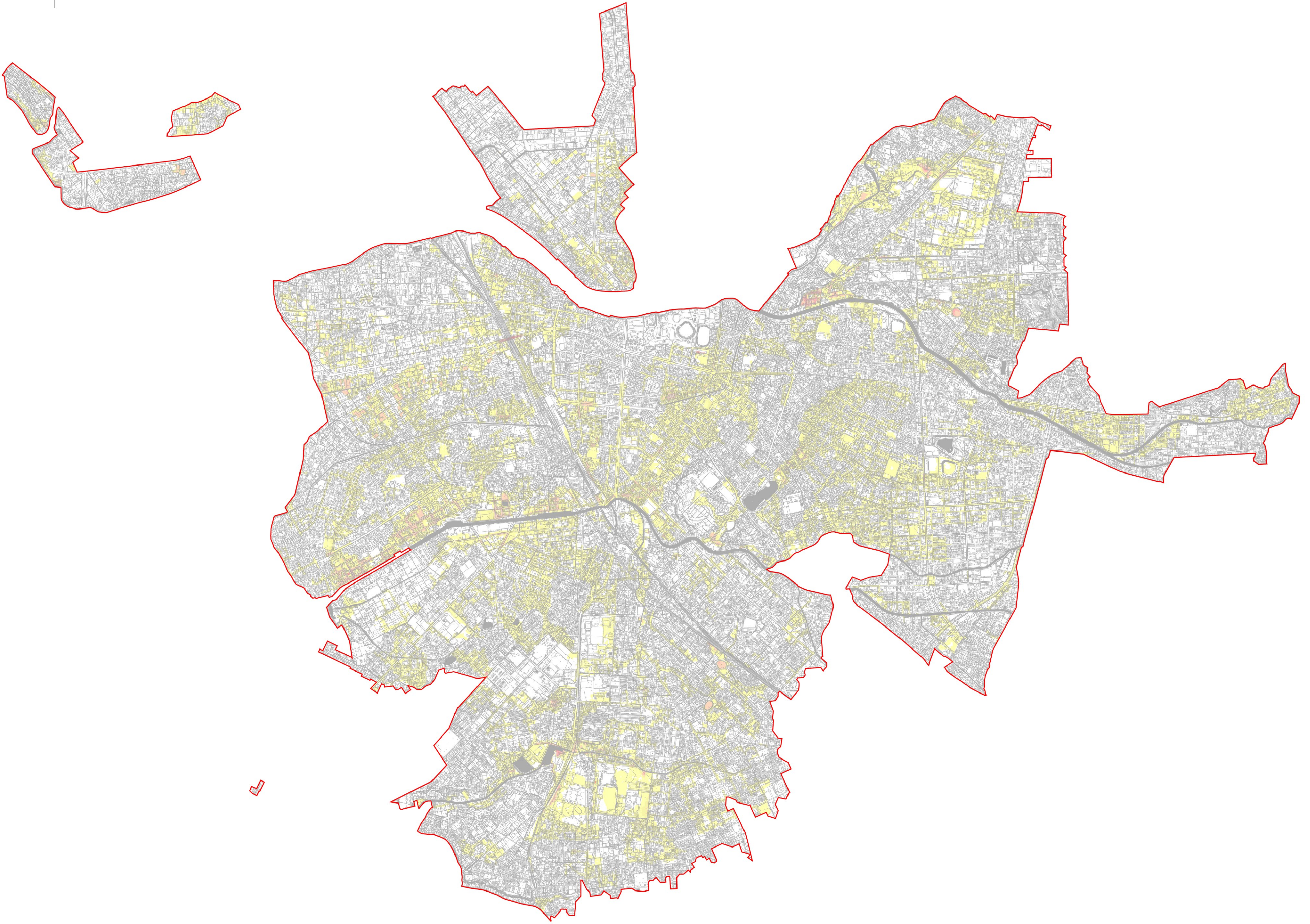
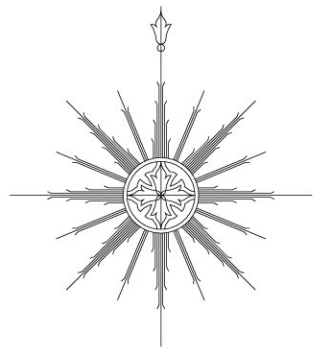


# 雨水出水浸水想定区域図（浸水深）



凡例	
浸水した場合に想定される水深(ランク別)	
	3.0～5.0m未満
	1.0～3.0m未満
	0.5～1.0m未満
	0.3～0.5m未満
	0.3m未満
	公共下水道等の排水区域

## 1) 説明文

- ①この図は、平成20年8月末豪雨の約2倍の雨が降った場合に浸水(内水氾濫)が想定される範囲やその深さを示したものです。この図で色がついていない場所は、計算上では浸水しない場所です。しかし、雨の降り方によってはこの図に示されていない場所でも浸水する可能性があり、浸水深も深くなる場合があります。
- ②この雨水出水浸水想定区域は、令和元年度末時点の豊橋市の下水道整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨(1時間降雨量147mm)に伴う雨水出水により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより求めたものです。
- ③このシミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、津波、高潮、洪水(河川の破堤または越水)による氾濫等を考慮していませんので、この雨水出水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際と異なる場合があります。
- ④このシミュレーションは、想定し得る最大規模の降雨(1時間降雨量147mm)による浸水を想定するため、下水道施設からの排水先である河川の水位を想定される最高水位に設定しています。
- ⑤この図において、公共下水道等の排水区域(赤枠)のうち、浸水が想定される区域(着色部)を示しています。

## 2) 基本事項等

- ①作成主体：豊橋市
- ②指定年月日：令和7年4月1日
- ③指定の根拠法令：水防法第14条の2第2項第4号
- ④指定の前提となる降雨：想定し得る最大規模の降雨(1時間降雨量147mm)
- ⑤浸水想定手法：浸水シミュレーション手法(降雨損失・表面流出・管内水理・氾濫解析を一連で実施)
- ⑥境界条件：排水先である河川の水位は、計画高水位を最高水位としています。  
雨水排水ポンプは、操作規定に準拠して設定しています。  
樋門は排水先である河川の水位が上昇し、逆流が生じる際は閉鎖しています。
- ⑦その他計算条件等：対象区域を10mメッシュに分割し、メッシュごとの浸水深を計算しています。

500 0 500 1000 1500m 1:25,000